

知識と技術を習得できる 「ドローンリモートセンシングプログラム」が開催



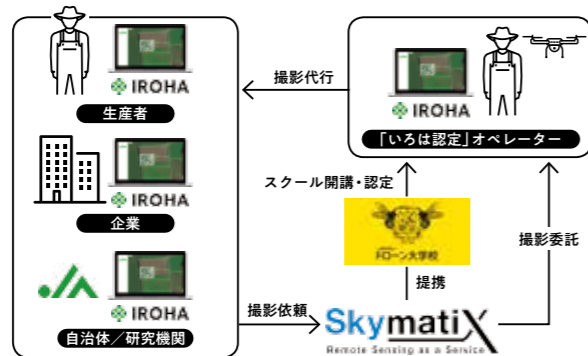
プログラムでは、座学のみならず、圃場をキャンパスとした実技も行う。修了検定では講師陣のサポートを受けず「いろは」を運用できる技能を習得できたかが審査される。



「いろは」認定オペレーター/
ラウンドコンシェル株式会社
ドローン事業部
テクニカルエキスパート
鈴木喜一さん

長年の夢であった空に関わる仕事をしたいと一念発起し、それまでの仕事を早期退職した鈴木さん。ドローン大学校に通って基礎技術を身に付けた後、ドローン運航技術の幅を広げるべく第1回ドローンリモートセンシングプログラムを受講した。「ドローンを農業で使うとき絶対に必要となる『生産者が何を求めているか』を教えてください。それが何より良かったです。必要なデータは作物ごとに違いますが、何時、どんな画像を撮れば良いのか？それには、ドローンの高度をどれ位にして、シャッタースピードをどうすれば解析しやすいか？という具体的な方法を学ぶことができました（鈴木さん）。

「いろは」を提供するスカイマティクスと、ドローンを安全・高度に操縦できる人材を育成するドローン大学校は、「ドローンリモートセンシングプログラム」を開始した。スカイマティクスの伊達氏は「農家の方が『いろは』を気軽に使えるよう、オペレーターに撮影を依頼できる仕組みが必要と考えました。そこでドローン大学校と、ドローンの安全運行管理技術は勿論、高品質な画像を撮影できる技術を持つオペレーターの養成を始めたのです」と語る。ドローン大学校理事長の名倉氏は「本校は修了生が『ビジネスとしてドローンを使える』ことが最終目標です。スカイマティクスが求める安全運航と画像撮影技術は本校の得意分野ですし、修了生のビジネスにも繋げられます」と続ける。



(左) 一般社団法人ドローン大学校 代表理事/理事長 名倉真悟さん (右) 株式会社スカイマティクス セールスディレクター 伊達卓馬さん

開催情報

ドローン大学校 オープンキャンパスセミナー

ドローンリモートセンシングについて広く学ばなら、まずはここから！ドローン大学校が東京・名古屋・岡山・広島・博多で定期的に開催している「オープンキャンパスセミナー」では「ドローンとは？ドローン大学校とは？」という説明に加えて、ドローンのビジネスチャンス、そして農業ドローンリモートセンシングの紹介を行っている。

日程・申込はこちら
▶ dronecollege.ac/opencampus

株式会社スカイマティクス認定 一般社団法人ドローン大学校 ドローンリモートセンシングプログラム 第3期

「いろは」をはじめとした農業分野におけるリモートセンシングの活用方法とその撮影方法について、座学と実習を織り交ぜ学べる2日間。

日程 6月2日(日)～6月3日(月) 定員 12名 受講料 98,000円

受講条件

- ①JUJIDAなどドローンの民間資格を取得された方、または10時間以上の無人航空機(ドローン)による飛行経験がある方。
- ②DJI PHANTOM 4などの4K画質が撮影可能なドローンをご用意できる方。
- ③Google Chrome または Microsoft Edge を使用できるパソコンをご用意できる方。
- ④国土交通省航空局に許可承認手続きをされている方。

受講料に含まれるもの

- ①ドローンリモートセンシングプログラム受講料
- ②オリジナルテキスト
- ③「いろは」認定オペレーター発行料
- ④宿泊費/食費

申込はこちら
▶ dronecollege.ac/entry/

どのドローンでも
解析サービスが
使える！

自分で
飛ばす？

プロに
任せる？

農業リモートセンシングのはじめかた

いよいよ実用化が始まった、ドローンを使ったリモートセンシング。実際に活用するためには、何が必要なのか？葉色解析サービス「いろは」を例に、リモートセンシングサービスの使い方をみてみよう。

text: Reggy Kawashima

リモートセンシングで何がわかる？

葉色解析サービス「いろは」はドローンで取得した作物の状態をクラウドに記録して、生育状況の確認や解析による圃場内の状況の見える化を実現するサービス。自分でドローンを操作・撮影できない場合でも撮影を代行してくれるとあって、作業効率化を目指す生産者だけでなく、地域のスマート農業を推進したい地方自治体やJA、先進農業に取り組む研究機関などからも注目されている。



「いろは」によるAI解析事例。圃場内にあるキャベツのサイズと個数を見える化

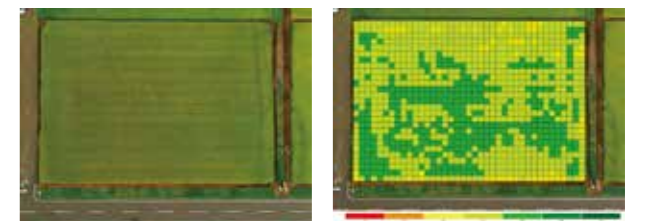
サービスを使うには？

1 オペレーターに依頼する

ドローンやセンサーを持っていない場合、また撮影・使い方が不安な場合は全てプロにお任せ。「いろは」認定オペレーターに撮影から画像のアップロードまで依頼できる。

2 撮影から解析まで自分で行う

自分でドローンを飛ばして、好きなときに解析を依頼。希望に応じて操作・操縦の講習の受講や「いろは」の初期設定代行などのオプションも選べる。ドローンは「株式会社スカイマティクス」でレンタルおよび販売も行っている。



ドローンで撮影した圃場の写真

撮影した写真を「いろは」でカラー診断した画面



「いろは」モニター画面

IROHA

「いろは」基本料金(年間契約)

従量課金プラン：12,000円/年、年間定額プラン：180,000円/年

※ドローンレンタル・パイロット派遣等は別費用
※年間定額プランは解析オプションとしてオルソモザイクやDSMの生成、画像処理・AI解析技術を用いた雑草解析や葉物野菜の生育診断、収量計算などが利用可能(処理上限あり。対象作物等は別途お問い合わせ)。従量課金プランの場合、解析オプションは追加購入。

問い合わせ ▶ 株式会社スカイマティクス
<http://smx-iroha.com> info@skymatrix.co.jp

ドローンの
販売・レンタルも！
その他、所有のドローンで
「いろは」が使えます



X-S2